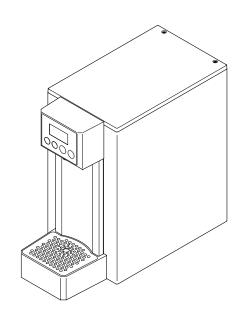


工事要領・取扱説明書

製品名: 卓上型電気湯沸器

型 式: EHWD-14K Cafe Edition



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。 設置工事(試運転)後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。 本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。

%この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。

株式会社目ボイトミック

もくじ

共通項目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••2
安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
EHWD-14Kについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
各部名称 ••••••••••••••••••••••••••••••••••••	5
仕様一覧 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	••••••
操作部・表示部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••
工事要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
施工前にご確認ください・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
1. 部品の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2.設置場所の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
施工する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
1. 設置工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2. 配管工事 ······	
3. 電気工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
4. 施工後の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
=±\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	4.4
試運転を行う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	••••••14
1. 試運転を行う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2. 試連転後の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•••••1/
取扱説明 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	18
AL - 1 AL	
使用方法·····	
1.使用前の準備と確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
1. 使用前の準備と確認 ······· 2. 各種設定方法 ····································	· · · · · · · · · · 19 · · · · · · · · 19
1.使用前の準備と確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·····19 ····19 ····25
1.使用前の準備と確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	······19 ·····25 ·····26
1.使用前の準備と確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	······19 ·····25 ·····26
1.使用前の準備と確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	······19 ·····25 ·····26 ····26
1.使用前の準備と確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1925262626
1.使用前の準備と確認	192526262626
1.使用前の準備と確認	
1.使用前の準備と確認	
1.使用前の準備と確認	
1.使用前の準備と確認 2.各種設定方法 3.出湯する お手入れの方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
1.使用前の準備と確認 2.各種設定方法 3.出湯する お手入れの方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
1.使用前の準備と確認 2.各種設定方法 3.出湯する お手入れの方法・ 保守点検項目と実施の目安 長期間使用しないときは 短期間使用しないときは 凍結防止対策・ 注湯口のお手入れ タンク内のお手入れ 外装のお手入れ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
1.使用前の準備と確認 2.各種設定方法 3.出湯する お手入れの方法 保守点検項目と実施の目安 長期間使用しないときは 短期間使用しないときは 短期間使用しないときは 東結防止対策 注湯口のお手入れ タンク内のお手入れ 外装のお手入れ 外表のお手入れ ・	
1.使用前の準備と確認 2.各種設定方法 3.出湯する お手入れの方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
1.使用前の準備と確認 2.各種設定方法 3.出湯する お手入れの方法 保守点検項目と実施の目安 長期間使用しないときは 短期間使用しないときは 短期間使用しないときは 東結防止対策 注湯口のお手入れ タンク内のお手入れ 外装のお手入れ 外表のお手入れ ・	

共通項目

安全上のご注意

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お 守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解され た上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。



警告 この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。



注意 この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性 が想定される』内容です。



○の記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。

○の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。 (左図の場合は『分解禁止』という意味です。)



●の記号は、しなければならない行為(強制行為)を示しています。

●の中に、具体的な指示内容が描かれています。

(左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。)

重要事項:必ずお守りください

爪警告



アース(D種接地)工事を確認してください。

アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。



定格電圧でお使いください。一時変動がある場合には土10%以内の環境でお使いください。

故障、火災の原因となります。

必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。



絶対に改造はしないでください。

火災、感電、やけど、故障やケガの原因となります。



給湯中とその直後は高温になっていますので、注湯口やその周辺部分に直接触れないでく ださい。

やけどのおそれがあります。

屋外に設置しないでください。

感電、故障の原因となります。

リセット操作時、メンテナンス作業時以外は上蓋や正面のカバーを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。

本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。



水が掛かったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールー ムには設置しないでください。

腐食や感電、故障の原因になります。

水・油・洗剤等が掛かる位置に機器本体および電源プラグ用のコンセント(電源プラ グ付機種の場合)を設けないでください。

腐食や感電、故障の原因になります。

タンク内の湯温が高い場合には絶対に排水しないでください。

やけどのおそれがあります。

⚠注意

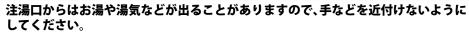
機器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水や故障の原因となります。

機器本体に強い力や衝撃を与えないでください。

故障や漏水の原因となります。

水道水(上水)以外は使用しないでください。

井戸水などを使用すると腐食などにより漏水、故障、発火、漏電の原因となります。



やけどのおそれがあります。

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は使用しないでください。

健康を害するおそれがあります。

規定の給水圧力(静止圧)にてご使用ください。

誤動作、故障の原因となります。

満水質量に十分耐えられる強度を持った調理台などに必ず水平に設置してください。 故障の原因となります。

機器本体へ配管接続する前に配管内のゴミ(切削粉、砂、シールテープ等)を除去するため、止水栓を開きフラッシングしてください。

故障や漏水の原因となります。

A

給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。 漏水の原因となります。

配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。 漏水の原因となります。

本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所では、各配管に対し、ヒーターや保温材を巻く等の凍結予防処置を施してください

凍結により破損、漏水のおそれがあります。

長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。

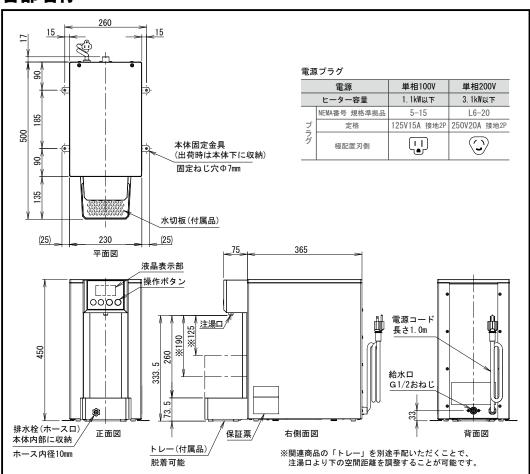
水質が悪化するおそれがあります。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグ本体を持って抜いてください。 感電、発火のおそれがあります。 EHWD-14Kについて

EHWD-14Kについて

本製品は、あらかじめ設定した湯温と湯量をワンプッシュで給湯が可能な卓上型の貯湯式電気湯沸器です。

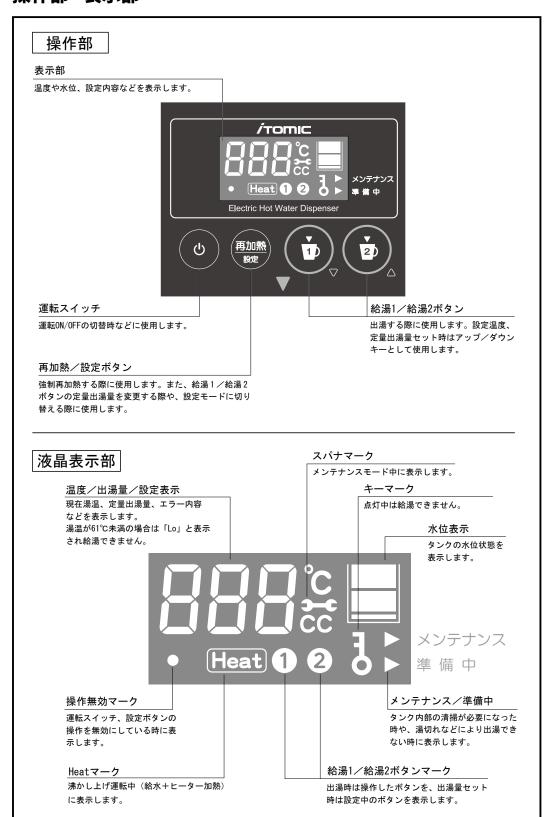
各部名称



仕様一覧

						
型式		EHWD-14K	EHWD-14VK	EHWD-14K(B)	EHWD-14VK(B)	
貯湯量(L))	14				
満水質量	(kg)		2	6		
構造			開放型ステッ	プボイル式		
出湯タイ	プ		定量出法	易タイプ		
	定格消費電力(kW)	1.1	1.5	1.1	1.5	
標準電源	電圧(V)	単相 100	単相 200	単相 100	単相 200	
	周波数(Hz)		50,	/60		
設定温度	節囲(℃)		70 ~ 99			
	設置環境温度(℃)	0 ~ 40(凍結しないこと)				
使用条件	一次側使用水温(℃)	40以下(凍結しないこと)				
使用来计	使用水圧(静止時)(MPa)		0.1 ~	0.75		
	設置場所	屋内				
接続口径	給水	G 1/ 2おねじ(15 A)				
	ヒーター	シーズヒーター				
主要部品	電源コード	1.0 m				
	タンク材質	高耐食ステンレス				
安全装置		空焚き・過昇温・異常満水・給水異常・漏水検出・空焚き防止				
各種機能		再沸かし上げ機能				
付属品		トレー× 1、水切板× 1、本体固定ねじ× 4				
本体色	<u> </u>	ステン	レス調	ブラ	ック	

操作部・表示部



共通項目

MEMO

工事要領

正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

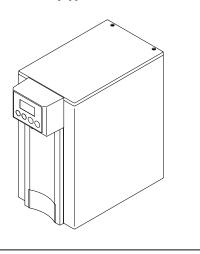
施工前にご確認ください

施工前にご確認ください

1. 部品の確認

- 【製品に同梱されています】

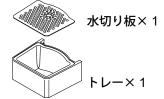
EHWD-14K本体



付属品



工事要領·取扱説明書×1、 保証書×1 (この冊子です。当冊子は工事終了後、 で使用になられる方へお渡しください。)



TTTT

本体固定ねじ×4

-【お客様にてご手配ください】—

お客様手配品

①漏電ブレーカ ・・・・・ 万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA、0.1秒)

②袋ナット、ユニオン ・・湯沸器を取り外せるようにするため必要です。

③ステンレスフレキ管・・・配管するために必要です。

④パッキン、シールテープ・・配管接続部分から漏水させないために必要です。

パッキンは必ずノンアスベストパッキンをご使用ください。 ゴム製のパッキンを使用すると、漏水のおそれがあります。

上記は必ずお客様にてご用意ください。

関連商品

①浄水器セット ・・・・・ 浄水器カートリッジ、フィルター設置用ヘッド、ブレードフレ キ(L=600mm)、ノンアスベストパッキンのセットです。

②浄水器カートリッジ・・交換用の浄水器カートリッジです。

③止水バルブ・・・・・・排水やメンテナンス時に本体の近くで給水を止めることがで

きます。

④追加トレー・・・・・トレーを重ねることで、給湯口からトレーまでの高さを変え

ることができます。

施工前にご確認ください

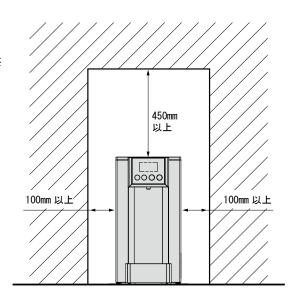
2. 設置場所の確認

項目	チェック内容	チェック
設置環境	凍結しない場所ですか? 凍結の可能性がある場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻くなどの凍結 予防処置を施してください。	
メンテナンス スペース	メンテナンスのためのスペースは確保されていますか? メンテナンススペースが取られていないと、修理やメンテナンスを行えない場合 があります。	
取付場所	水平な場所ですか? 水平でない場合はお取り付けいただけません。	
4X19 <i>4</i> % <i>F</i> //	満水質量に耐えられる場所ですか? 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	
給水圧力	給水圧力は0.1 ~ 0.75MPaの範囲内ですか? 湯沸器が正しく動作しませんので、必ず上記の範囲の給水圧力があることを確認 してください。	
コンセント	設置場所付近にコンセントはありますか? 電源コードの長さは1.0m(標準)です。	
電圧	定格電圧の土 10 % 以内ですか? 電圧が範囲内に収まっていないと、性能を十分に発揮できない場合や、故障・火災の原因にもなりますので、一時変動がある場合にも定格電圧の± 10 % 以内の電圧であることを確認してください。	

メンテナンススペースについて

必要なメンテナンススペースは右記の通りと なります。

メンテナンススペースが取られていないと、修 理やメンテナンスを行えない場合があります。

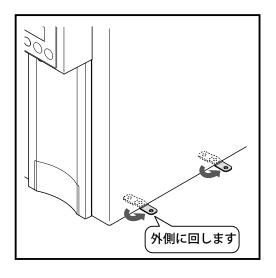


施工する

施工する

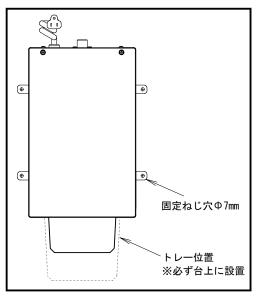
1. 設置工事

①本体の底下に収納されている固定金具を外側 に出してください。



- ②本体を取り付ける位置を決定し、アンカー位置 に印をつけてください。
- ③付属品の本体固定ねじを使用して設置台にしつかりと固定してください。

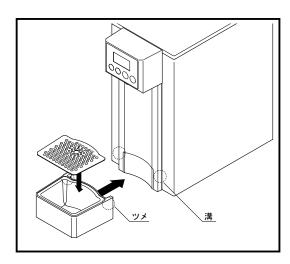




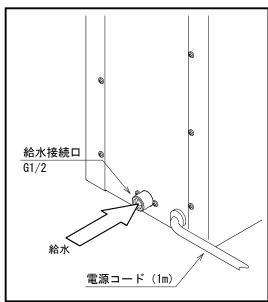
2.配管工事



- ・給水配管工事後は、配管内に汚れが残ります。配管内の汚れや薬品臭などを湯沸器のタンク内に入れないようにするため、湯沸器に接続する前にしばらく水を流し続けて配管内の水を捨ててください。
- ・湯沸器に接続する配管はフレキシブル配管とし、ノンアスベストパッキンを利用してください。
- ・本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所では、各配管 に対しヒーターや保温材を巻くなどの凍結予防措置を施してください。
- ①トレーに水切り板を載せ、内側のツメを本体の溝に挟み込むようにカチッと音が鳴るまで押し込んで取り付けます。



- ②右図を参照し給水管を接続してください。
- ・給水配管にフレキ管(30cm以上)を使用する場合は、ウォーターハンマー現象による振動音を予防するため配管を固定してください。



施工する

3. 電気工事

電源一次側にお客様手配品の漏電ブレーカを取り付け、D種接地工事を行ってください。

4.施工後の確認

チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
小里 丁亩	湯沸器にがたつきはありませんか?	
設置工事	トレー全体が設置台に載っていますか?	
配管工事	給水管の接続部分にゆるみはありませんか?	
命与于古	漏電ブレーカは正しく作動しますか?	
電気工事	D種接地工事は正しく行われていますか?	

試運転を行う

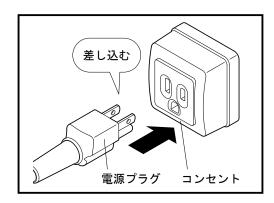
◆設定温度は工場出荷時の99℃で説明しています。

1. 試運転を行う

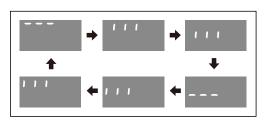
- ①止水栓を全開にして、配管部から漏水がないか 確認してください。
- ※ この時点ではまだ給水されません。



②電源一次側に設置した漏電ブレーカをONにし、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



③状態チェック動作が行われます。識別表示が行われたあと、前面のデジタル表示部が回転して表示されます(約 15 秒)。





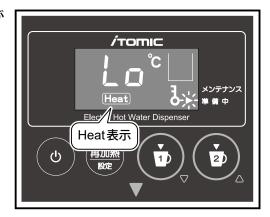
④状態チェックが終わったあとは「一」の点滅表示となります。(運転 OFF 状態)



- ⑤「運転スイッチ」を3秒間長押しして運転 ONにします。③と同様にデジタル表示部が回転して表示されます。(約 15秒)
- ⑥回転表示のあと、右図のように「一」が順番に表示され(約 100 秒)、給水が開始されます。
 - ※準備中の ▼マークが点滅表示されている間は出湯できません。



⑦タンク内の水位が上昇すると「Lo」と「Heat」が 表示され、沸かし上げが開始されます。



®タンク内の湯温が61℃を超えると現在湯温が表示されます。さらに水位が一定量まで上昇すると準備中の ▶マークが消灯し、水位が表示されます。同時に 1キーマークが消灯します。

出湯可能となります

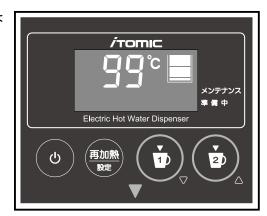
「給湯 1」「給湯 2」ボタンを押すと出湯できます。



⑨タンク内の水位が上昇するにつれて表示が増えていきます。



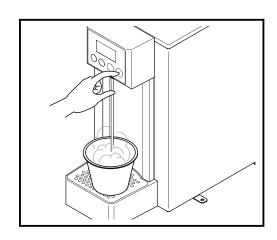
⑩タンク内の水位が満水になり、湯温が99℃になると沸かし上げが完了します。



①「給湯 1」「給湯 2」ボタンのいずれかを押して、 お湯が出れば試運転完了です。



確認の際には熱湯にご注意ください。 やけどの危険があります。



出湯量を設定する必要があります

P.19を参照し、出湯量を設定してください。工場出荷時は、「給湯 1」「給湯 2」ボタンともにボタンを押している間だけ出湯する〈継続出湯〉に設定されています。



設置後、使い始めの際にお湯が出にくい(乱れる)場合があります。お湯の飛び散りでやけどをしたり、定量出湯時に湯量が不安定になるおそれがあるため、出湯が乱れた場合は〈5秒程度お湯を出す→止める〉を数回繰り返してお湯の出方を整えてください。

沸き上がり時間の目安

項目型番	出湯タイプ	貯湯量 (L)	標準電源 (V)	定格消費電力 (kW)	沸き上がり時間 (分)※
EHWD-14K	定量出湯	14	単相 100	1.1	75
EHWD-14VK			単相 200	1.5	55
EHWD-14K(B)		14	単相 100	1.1	75
EHWD-14VK(B)			単相 200	1.5	55

[※]給水温度 15℃、沸き上がり温度 99℃の場合。

2. 試運転後の確認

チェックリスト

項目	目 チェック内容	
漏水	各配管、継手に漏水はないですか?	
におい、味	出湯したお湯に薬品のようなにおいや味はないですか?	

以上で施工終了です。

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

1. 使用前の準備と確認

で使用の前に次の事をご確認ください。

チェックリスト

項 目 チェック内容		チェック
ナ 仕まなり	近くにガス類や引火物がないですか?	
本体まわり	本体の上に物などを載せていませんか?	

お願い: 故障時の対応策をおとりください

故障した場合、修理完了までの間機器は使用できません。給湯不能時の営業保証はいたしませんので「故障=営業停止」に至るような使い方はお避けください。予備機を設置するなど運用でカバーできる体制を事前に整えてください。

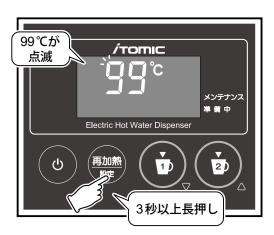
2. 各種設定方法

沸かし上げ温度を70℃~99℃の範囲で1℃刻みの設定ができます。 また、「給湯 1」「給湯 2」ボタンそれぞれにお湯の量をあらかじめ設定することができます。 下記の手順に従って、希望の温度、出湯量に設定してください。

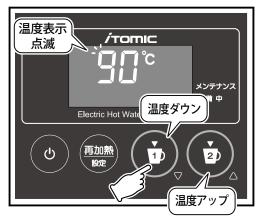
※工場出荷時の設定温度は「99 $^\circ$ 」に設定されています。また、「給湯 1」「給湯 2」ボタンはともに、ボタンを押している間だけ出湯する〈継続出湯〉に設定されています。

沸かし上げ温度を設定する

- ①運転中に、「再加熱/設定」ボタンを3秒以上長押しし〈設定モード〉に切り替えます。
 - ·「99°C」が点滅します。

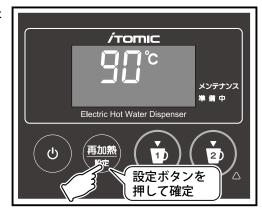


- ②「給湯 1」「給湯 2」ボタンを押して、沸し上げ温度を設定します。
- ◆「給湯1」ボタンが設定温度<u>ダウン</u>、「給湯2」 ボタンが設定温度**アップ**です。
- ◆設定可能な温度は<u>70 ~ 99 ℃</u>です。設定単位は1 **℃刻み**となります。
- ※1秒以上の長押しで高速でアップダウン可能になります。
- ※設定中は温度表示は点滅しています



<例>設定温度を90℃に設定した場合

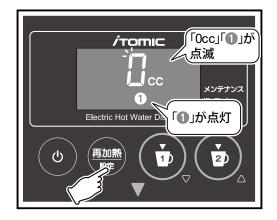
- ③お好みの沸かし上げ温度(90°C)が表示されたら「再加熱/設定」ボタンを押して確定させます。
 - ・確定すると、「給湯 1」ボタンの出湯量を設定するモードに切り替わります。



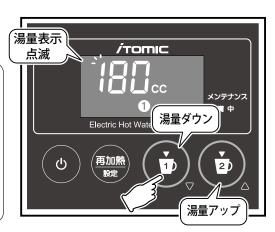
以上で沸かし上げ温度の設定は完了です。

「給湯1」ボタンに出湯量を設定する

- ★「給湯 1」ボタンの設定は、沸かし上げ温度の設定完了後にのみ行うことができます。
- ④沸かし上げ温度の設定確定後は、工場出荷時の「Occ」が点滅、「①」が点灯しています。

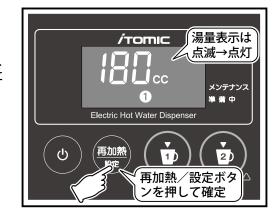


- ③「給湯 1」「給湯 2」ボタンを押して、湯量を設定します。
 - ◆「**給湯 1**」ボタンが設定出湯量<u>ダウン</u>、「**給湯** 2」ボタンが設定出湯量**アップ**です。
 - ◆設定可能な出湯量は100 ~ <u>990cc</u>です。 設定単位は10cc**刻み**となります。
 - ※1秒以上の長押しで高速でアップダウン可能になります。
 - ※ここで湯量を設定しない(Occのまま)場合は、「給湯 1」ボタンは継続出湯になります。
 - ・湯量表示は点滅しています。



<例>「給湯 1」ボタンの出湯量を180ccに設定した場合

- ⑥お好みの出湯量(180cc)が表示されたら「再加熱/設定」ボタンを押して確定させます。
 - ・確定すると湯量表示は点滅から点灯に変わり、 「給湯 2」ボタンの出湯量を設定するモードに 切り替わります。



以上で「給湯 1」ボタンの出湯量設定は完了です。

「給湯 2」ボタンに出湯量を設定する場合

- ★「給湯 2」ボタンの設定は、「給湯 1」ボタンの設定完了後にのみ行うことができます。
- ⑦「給湯 1」ボタンの設定確定後は、工場出荷時の「Occ」が点滅、「②」が点灯しています。
- ⑧その後の出湯量設定は「給湯 1」ボタンの 手順(④~⑥)と同様です。
- ⑨「給湯2」ボタンの設定が確定したら沸かし上げ 温度と出湯量の設定は完了です。(30秒後に通 常運転モードに戻ります)



<例>「給湯 2」ボタンの出湯量を360ccに設定した場合

以上で沸かし上げ温度と出湯量の設定は完了です。



定量出湯量の微調整(補正)方法について

セットした出湯量と実際に出湯した湯量に差が生じた場合は、以下の手順で調整することができます。調整単位は約10cc刻みとなります。

- ①通常運転中に、「再加熱/設定」ボタンを押しながら補正したい給湯ボタンを押します。
 - ※必ず「再加熱/設定」ボタンを先に押してく ださい。
- ②工場出荷時の「0」(補正無し)が表示され、選択した給湯ボタンのマークが点灯します。(右図の場合は「①」)



- ③「給湯1」ボタンまたは「給湯2」ボタンを押して、 補正量を調整します。
 - ◆「給湯 1」ボタンが設定出湯量<u>ダウン</u>、 「給湯 2」ボタンが設定出湯量アップです。
 - ◆表示される数字は「- 10」~「10」です。
 「1」ごとに約10ccずつ、- 100cc ~
 +100ccの間で出湯量の調整が可能です。

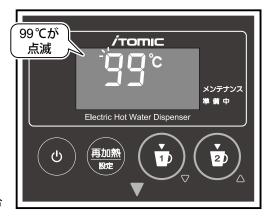


- ④補正したい量の数字を表示させたら、「再加熱/設定」ボタンを押して完了させます。 ・補正した数字が点滅→点灯に変わり、自動で通常運転に戻ります。
- ※出湯量補正モードに切り替えたあと、ボタン操作が30秒なかった場合は自動で通常運転に戻ります。
- ※途中で運転スイッチを3秒間長押しすると設定がキャンセルされ、通常運転に戻ります。

Fモード(メニューモード)

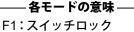
ボタン操作の無効や、液晶表示の明るさ調整を行うモードです。下記の手順で操作してください。

- ①運転中に、「再加熱/設定」ボタンを3秒以上 長押しし〈設定モード〉に切り替えます。
 - ・現在設定している設定温度が点滅します。

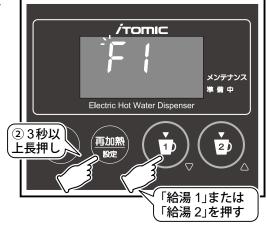


<例> 設定温度を99℃に設定した場合

- ②<u>〈設定モード〉に切り替わった状態</u>から、「再加熱/設定」ボタンを3秒以上長押ししてください。「F1」または「F2」が選択できる〈Fモード〉になります。
 - •「F1」が点滅します。
- ③「給湯 1」「給湯 2」ボタンを押して「F1」「F2」 のどちらかを選択してください。
 - ※「給湯 1」ボタンがダウン、「給湯 2」ボタンがアップです。



F2:液晶表示の明るさ調整



・工場出荷時は F1:OFF(スイッチロック OFF) F2:222(中間) に設定されています。

F1 …スイッチロックの設定

機器運転のON / OFFや各種設定変更が出来ないよう、「運転スイッチ」と「再加熱/設定」ボタンの一部機能をロックさせる設定です。機器運転中のみ有効となります。

①「F1」が点滅している状態で「再加熱/設定」 ボタンを押してください。「oF」が点滅表示し ます。



②「給湯 2」ボタンを押して「on」「oF」のどちらかを選択してください。

③「再加熱/設定」ボタンを押して確定させてく ださい。

oF:「運転スイッチ」および 「再加熱/設定」ボタン操作が<u>有効</u> ○マーク<u>消灯</u>(スイッチロック OFF)

on:「運転スイッチ」および 「再加熱/設定」ボタンによる沸かし 上げ温度変更と出湯量変更が<u>無効</u>※ ○マーク<u>点灯</u>(スイッチロック ON)



※スイッチロック ONにした場合でも、〈再加熱機能〉は有効です。(再加熱→ P.25 ワンポイント) ※スイッチロック中に「再加熱/設定」ボタンを3秒長押しすると〈Fモード〉に切り替わります。 スイッチロックをOFFにする場合は〈Fモード〉に切り替えて行ってください。

F2 …液晶画面の明るさ調整

液晶画面に表示される数字、マークの明るさを調整します。

①「F2」が点滅している状態で「再加熱/設定」 ボタンを押してください。「222」が点滅表示 されます。

他のマークも点滅表示され、明るさが調整で きるようになります。



- ②「給湯 1」ボタンまたは「給湯 2」ボタンを押して、お好みの明るさを選択してください。
- ・調整時の表示は以下のようになります。 「111」「222」「333」の表示ごとに明るさが切り 替わります。数字が大きい方がより明るいです。
- ③「再加熱/設定」ボタンを押して確定させてく ださい。





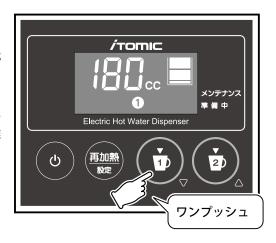
3. 出湯する

本機はあらかじめ設定した量をワンプッシュのボタン操作で出湯することができる〈定量出湯タイプ〉です。「給湯 1」「給湯 2」ボタンそれぞれにお好みの出湯量を設定することができます。また、定量出湯を解除して、ボタンを押している間だけ出湯する〈継続出湯タイプ〉に設定することも可能です。

- ※出湯量の設定方法はP.19「各種設定方法」を参照ください。
 - ①カップなどを注湯口の真下にくるようにトレーに置いてください。
 - ②「給湯 1」または「給湯 2」ボタンを押すと、あらかじめ設定された湯量で出湯します。

設定した量のお湯が出ると自動で出湯が停止します。

※ワンプッシュで出湯可能です。押し続ける必要はありません。(ボタンから指を離しても出湯は止まりません)



- ・出湯量を設定している場合でも、「給湯 1」「給湯 2」ボタンから約 2秒以上指を離さず、押し続けると継続出湯タイプと同様に押している間だけ出湯します。指を離すと出湯が停止します。
- ・定量出湯中にお湯を止めたい場合は、「給湯 1」「給湯 2」ボタンをもう一度押してください。「給湯 1」「給湯 2」ボタンいずれを押しても出湯が停止します。



- ・1分以上ボタン操作がない場合は省エネ表示になります。(表示が暗い状態)
- ・お湯の使用がない待機運転中は、タンク内の湯温が設定温度よりも低くなっています。通常運転では一定の温度低下を検知した際に自動で沸かし上げを開始しますが、「再加熱/設定」ボタンを押すことで強制的に設定温度まで沸かし上近ることができます。
- ・「再加熱/設定」ボタンを押すと「Heat」マークが点灯し、ヒーター加熱が始まります。タンク内の湯温が設定温度になると沸かし上げを完了します。 ※「再加熱/設定」ボタン操作時の1回に限ります。

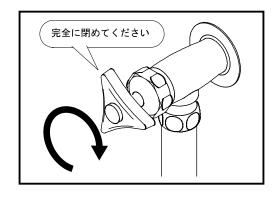
保守点検項目と実施の目安

点検項目	点 検 内 容	点検の目安
コードおよびプラグ	コードが熱を持っていないこと、損傷および劣化していないこと、プラグの締め付け部にゆるみなどの異常がないことを確認してください。トラッキング現象による火災防止のために一次側ブレーカをOFFにし、コンセント周囲やプラグを乾いた布等で清掃してください。	1回/月
漏水全般について	本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	1回/日
タンク内部の清掃	最低、年に1回以上はタンク、ヒーター、水位センサーの表面のスケールをナイロンタワシなどで清掃してください。(タンクにはセンサーなどの突起物が出ていますのでケガや部品の破損にご注意ください)	適宜
給水一次側フィルタ フィルタ内にゴミが詰まると湯沸器の性能に影響しますので 最低、年に1回以上は止水栓を閉めてフィルタ内のゴミを除去してください。		

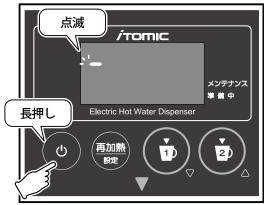
長期間使用しないときは

長期間、湯沸器をご使用にならない場合には水質 劣化を防ぐため、下記の手順に沿ってタンク内の お湯を抜いてください。

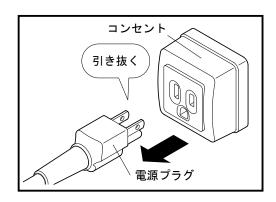
①止水栓を完全に閉めてください。



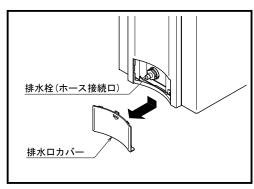
②本体操作部の「運転スイッチ」を長押しし、運転 OFFにします。デジタル表示部の一部が点滅 します。



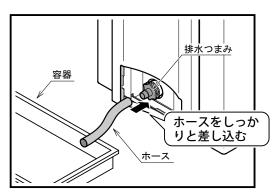
③一次側の漏電ブレーカをOFFにしてから、電源プラグをコンセントから抜き、タンク内のお湯が冷めるまで最低でも24時間放置してください。



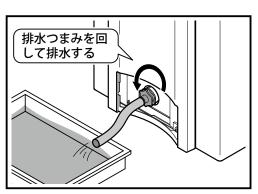
④本体正面下部にあるカバーを外します。



⑤排水を受ける容器を用意し、ホースを排水栓のホース挿入口にしっかりと差し込みます。 (適合ホース内径:10mm)



- ⑥排水つまみを回して排水します。
 - ※湯温が高い場合があるのでやけどに十分で 注意ください。
- ⑦排水が終了したら排水つまみを閉め、ホースを 外してカバーを取り付けます。



短期間使用しないときは

短期間湯沸器を使用しない場合には、状況に応じてそれぞれ下記の対処を行ってください。

- ●ご使用を停止する場合
 - ・「運転スイッチ」をOFFにしてください。
- ●停電の場合
 - ・湯沸器の操作、止水栓の開閉など、機器や配管に対処する必要はありません。停電からの復旧をお待ちください。
- ●断水の場合
 - ・止水栓を閉め、「運転スイッチ」をOFFにして、断水が終了するまでお待ちください。

凍結防止対策

凍結のおそれがある場合は、以下の方法にて機器の凍結予防措置を行ってください。

<機器の運転を継続しつつ凍結を予防する場合>

機内温度を氷点下にしないために、機器の通電を継続し沸かし上げを続けてください。また、凍結の可能性がある場所では各配管に対し、ヒーターや保温材を巻く等の凍結予防処置を施してください。

注湯口のお手入れ

注湯口は、長期のご使用によりスケールが付着し湯の出が悪くなる場合があります。定期的に清掃してください。

注意!<u>注湯口は取り外しできないため、強く引っ張らないでください。シリコン製のためちぎれ</u>るおそれがあります。

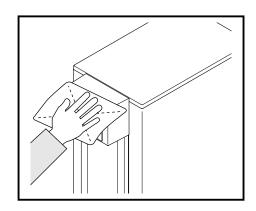
タンク内のお手入れ

通常運転中、液晶画面に▶のマークが「メンテナンス」の位置で点減表示している場合は、タンク内の水位センサーがスケール付着などによって、水位を正しく検知できない状態になっています。そのままの状態で運転を続けた場合、注湯口からお湯があふれ出る(オーバーフロー)おそれがありますので点検が必要です。アフターサービス窓口までご連絡ください。



外装のお手入れ

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは 適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭 いてください。薬品やクレンザーなどは使用しな いでください。



停電後の対応について

停電後の最初の運転では、停電が起こる前の運転状態で復帰します。運転中に停電が起きた場合は運転 ON状態で復帰し、運転停止中に停電が起きた場合は運転 OFFのままとなります。 また、設定温度やスイッチロックの機能も維持したまま復帰します。

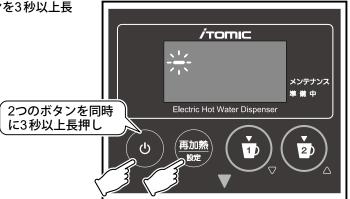
本体のフラッシング方法

フラッシングとはタンク内の湯水を強制的に入れ替える作業です。 出湯したお湯に臭気や味の異常がある場合は、以下の手順に従ってフラッシングを行ってください。

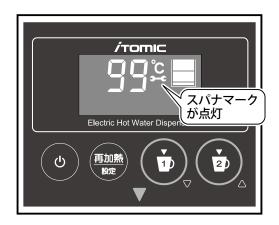
- ①運転 OFF 状態であることを確認してください。
- ※絵は継続出湯タイプの場合



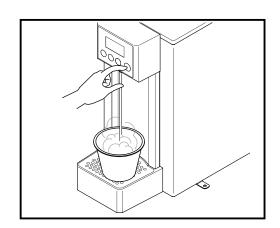
②「運転スイッチ」と「設定」ボタンを3秒以上長押ししてください。



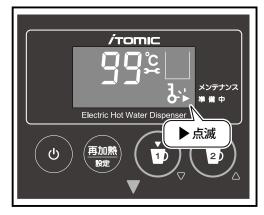
- ③スパナマークが点灯し、メンテナンスモードで 運転を開始します。
- ※メンテナンスモードで運転中は、給水によりタンク内湯温が低下してもヒーター加熱による 沸かし上げ運転を行いません。また、タンク内 の湯温が低下した際に「Lo」表示せず、現在湯 温を表示したままで出湯することも可能です。



- ④「給湯」ボタンを押して出湯を続けてください。
- ※定量出湯タイプの出湯方法については、P.19 「出湯する」を参照してください。



- ⑤しばらく出湯を続けると準備中の▶マークが 点滅してお湯が出なくなります。
- ※準備中の▶マークが点滅している時は、タンク内の水位が低下しているため出湯することができません。



*i*tomic

Electric Hot Water Dispe

再加熱

டு

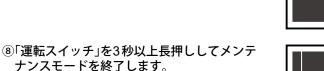
メンテナンス 準 備 中

2)

▶消灯

1)

- ⑥タンクに給水されていますので準備中の▶マー クが消灯するまでしばらくお待ちください。
- ⑦▶マークが消灯すると再び出湯することが可能になります。手順④~⑥を3回程度繰り返し、タンク内の湯水を入れ替えてください。 出湯した湯水から臭気や味に異常がないか確認してください。





以上で本体フラッシング作業は完了です。

本体フラッシング作業が完了した後は「運転スイッチ」を3秒以上長押しして通常運転を開始してください。

本体のフラッシングを行った後もお湯から臭気や味に異常がある場合は、アフターサービス窓口までご連絡ください。

こんなときは

故障かな?と思ったら

湯沸器が正しく運転しない場合や不調な場合、修理をご依頼の前にご確認ください。

状 況	ご確認ください	対処方法
	一次側の漏電ブレーカがOFF になっていませんか?	漏電ブレーカをONにしてください。
運転スイッチを押 しても液晶表示や	電源プラグは確実にコンセン トに差し込まれていますか?	確実に差し込んでください。結線部が断線してい る場合もありますので、点検してください。
デジタル表示が点 灯しない	電圧は正常ですか?	電圧を誤るとコントローラが破壊され、一切表示しなくなります。 故障の場合は、アフターサービス窓口までご連絡ください。
	停電ではありませんか?	復旧までお待ちください。
湯の出方が悪い	注湯口にスケールが付着して いませんか?	スケールを除去してください。→ P.28『注湯口の お手入れ』参照。
湯にならない	機器の運転がOFFになってい ませんか?	本体の運転スイッチをONにしてください。 ONにしても改善しない場合は点検が必要です。ア フターサービス窓口までご連絡ください。
	断水ではありませんか?	断水が終わるまでお待ちください。
湿ま むま 山たい	給水量が不足していませんか?	止水栓を開いて調整してください。給水一次側の フィルタにつまりがある場合は、管理技術者の方に 依頼し取り除いてください。
湯も水も出ない	止水栓が閉まっていませんか?	閉まっていたら開けてください。
	液晶画面の「準備中」の位置に▶マークが表示されていませんか?	タンク内のお湯の量が少ないため出湯できません。 沸かし上げ中のため、▶マークが消えるまでお待ち ください。
設定した量の湯が出ない	お湯の出方は安定しています か?	お湯の出方が乱れている場合はP.16「ワンポイント」を参照してください。お湯の出方に問題がない場合はP.22「ワンポイント」を参考に、出湯量を補正してください。
湯沸器本体から音 がする	沸し上げ中ですか?	沸し上げ中は湯温の上昇に伴って湯沸器本体から 沸し上げ音がする場合がありますが、故障ではあり ません。
給水時、湯沸器本 体や配管が振動音 を発する	配管はしっかり固定されてい ますか?	給水管に長いフレキ管を使用している場合、しっかり固定されていないと「ウォーターハンマー現象」が起き、振動音が出ることがありますので、しっかり固定してください。
湯が臭い 湯が汚れている	設置直後ではありませんか?	設置直後などは工事の際の切削油などが流入する ことがあります。出湯したお湯に異変を感じた際 は、湯沸器本体のフラッシングを行なってください。 P.30「本体のフラッシング方法」参照。
配管から漏水して いる	配管接続部がしっかり締めこ まれていますか?	配管接続部をしっかり締め直してください。
注湯口から湯気や 湯水が垂れている	沸かし上げ中ですか?	沸かし上げ中は注湯口から少量の湯気や湯水が出る場合がありますが、連続的または大量に出ている場合は点検が必要です。機器の運転を停止(電源プラグをコンセントから抜く)し、止水栓を閉め、アフターサービス窓口までで連絡ください。

こんなときは

エラーコードについて

湯沸器に異常が発生すると自動的に運転 OFF 状態となり、エラーコードの点滅表示と、ブザー音により報知します。(ブザーを止めるには「運転スイッチ」を1回押してください。)下表を参照の上、対処してください。

- エラー解除方法 -

「運転スイッチ」と「再加熱/設定」ボタンを10秒以上長押しする(液晶全消灯・エラー解除完了)→その後、自動で初期動作を開始(P.14③参照)



※上記方法でエラー解除できない場合は、アフターサービス窓口にご連絡ください。

エラー	機器の状態		対処方法
E0 E51 E52	ヒーターが異常加熱している可能性があります。	\setminus	エラー表示確認後、コンセントから電源プラグを抜いてください。 部品交換が必要な可能性がありますのでアフターサービス窓口までご連絡ください。
E1 E6	給水することができなかっ た可能性があります。		断水の場合は、断水が終了するまでお待ちになり、エラー解除後に運転を再開してください。 止水栓が閉まっていた場合、 止水栓を開いた後、エラー解除後に運転を再開してください。 それ以外の場合は部品交換が必要な可能性がありますのでアフターサービス窓口までご連絡ください。
E2	温度センサーが故障してい る可能性があります。		部品交換が必要な可能性がありますのでアフターサー ビス窓口までご連絡ください。
E3	ヒーターが断線またはコン トローラが故障している可 能性があります。		コンセントから電源プラグを抜いてください。部品交換が必要な可能性がありますのでアフターサービス窓口までご連絡ください。
E4 E7 E81 E82	水位センサーが機能していない可能性があります。	\setminus	止水栓を閉めてください。メンテナンス・部品交換が必要な可能性がありますのでアフターサービス窓口までで連絡ください。
E5	給水を停止することができ なかった可能性があります。 	\setminus	止水栓を閉めてください。メンテナンス・部品交換が必要な可能性がありますのでアフターサービス窓口までで連絡ください。
E10	給水流量を調整する水量 サーボの故障の可能性があ ります。	\setminus	エラー解除後に運転を再開してください。再度エラーになるような場合は、部品交換が必要な可能性がありますのでアフターサービス窓口までご連絡ください。
E11	製品内部で漏水を起こしている可能性があります。	\setminus	止水栓を閉めてください。メンテナンス・部品交換が必要な可能性がありますのでアフターサービス窓口までで連絡ください。

ブザー停止方法

「運転スイッチ」を押すことでブザーを停止することができます。

その他の表示について

上記のエラーコード以外にランプが点滅している等、通常運転状態とは異なる表示が出ている場合にはアフターサービス窓口にご連絡ください。

アフターサービス

消耗品について

下表に記載する部品は定期的に交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため定期的に交換してください。部品交換(有償)はアフターサービス窓口までご依頼ください。

	部品名	交換時期の目安	交換いただく理由
	給水弁		
	異常時遮断弁		
弁・パッキン	定流量弁	交換・設置日より	
	ホース類	3~5年	
	Oリング・パッキン類		長期間で使用いただくことにより、経年劣化やス
	ヒーター		│ ケール [※] による動作不良や漏水を起こす可能性が │ あります。漏水が起きた場合大きな被害を与える
	コントローラー		ことがありますので、交換することによりそれら
電装部品	注湯ポンプ		を防止します。
电表部 四	センサー類	交換・設置日より 5 ~ 7年	※水道水中のミネラル分が固着したもの。
	ケーブル・コード・配線類		
	その他電装類		
その他	フィルター類		
-と ひ1世	注湯口		

[※]使用頻度、環境によっては交換が早まる場合があります。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

メンテナンス契約について

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは裏表紙に記載の 弊社リニューアル課までご連絡ください。また、部品のご注文はアフターサービス窓口にて承っ ております。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.33の故障状況シートの必要事項にご記入いただき、お電話またはインターネット、FAXにてご連絡ください。(型番や製造番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。)



アフターサービス

アフターサービス窓口

TEL

〈全国共通ナビダイヤル〉

一般電話・公衆電話・携帯電話の場合(市内通話料金でご利用可能です) **0570-011039** ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号 等の情報をご用意ください。

受付時間:24 時間 365 日(営業時間:8:45~17:45)

一般電話・公衆電話の場合は市内電話料金でご利用可能、携帯電話からも接続可能です。

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる 場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。※PHS、IP電話からはご利用になれません。そ の場合、以下の窓口にお問い合わせください。

関東地区のお客様: 03(3621)2161 関東地区以外のお客様: 裏表紙記載の最寄りの営業所にお問い合わせください。

インターネット 〈インターネット修理受付窓口〉

https://www.itomic.co.jp/repair/

インターネットのフォームにて修理のご依頼を受け付け致します。入力内容のご確認および訪問日のご調整のため、お申込み頂いた翌 営業日に担当者よりご連絡を差し上げます。

FAX

〈FAX 修理受付窓口〉 03 (3621) 2163

FAX で修理のご依頼を受け付け致します。当ページの故障状況シートに記載の上、最寄りの営業所へお送りください。(裏表紙に記載)

	故障状況シート				
貴	社	名	ご担当者名		
ご	住	所			
Т	E	L	F A X		
製	品 型	番	EHWD-14K		
電	源、電	力	製 造 番 号		
設	置場	所	保証期限		

状 態

MEMO

取扱説明

MEMO

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から3年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、アフターサービス窓口までご依頼ください。

- 1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
- 2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、アフターサービス窓口にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地(離島および離島に準ずる遠隔地)への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 3. ご転居の場合は、事前にアフターサービス窓口にご相談ください。
- 4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
- 5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
 - (1) お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・タンク内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合**1
 - (2) Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
 - (3) 工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
 - (4) 輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
 - (5) 専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
 - (6) 指定規格以外の電気(電圧・周波数など)の使用や電力契約の間違いによる不具合
 - (7) 温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
 - (8) 設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
 - (9) 電気・給水の供給トラブル等による不具合
 - (10) 配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
 - (11) 建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合
 - (12) 火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
 - (13) 保証票の提示が無い場合
- 6. 無料修理により交換された部品や製品は(株)日本イトミックの所有となります。
- 7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。
- ※1:日常のお手入れとはお客様で自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認いただくとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。
- ※2:製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずで確認いただくとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

■お客様へ

- 1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
- 2. 保証票の再発行はいたしません。
- 3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理で依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
- 4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧いただくか、アフターサービス窓口までお問い合わせください。
- 5. 保証票によって、保証票を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上 の権利を制限するものではありません。

株式会社 💳

本社・営業本部 ·TEL:03 (3621) 2121 (代)

FAX:03 (3621) 2130

〒 131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F) ホームページ https://www.itomic.co.ip/

《修理に関するお問い合わせ》・

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

一般電話・公衆電話・携帯電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合がありま ** 電品の日かられている場合には、アランスがMMでは、BTPの目がMMでも場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。
**PHS、IP電話からはご利用になれません。関東地区のお客様は以下の窓口、その他の

地域のお客様は最寄りの営業所まで直接お問い合わせください。

関東地区お問い合わせ・・・・・・・・・・・TEL:03 (3621) 2161 FAX:03 (3621) 2163

《保守契約に関するご相談》・

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の

弊社リニューアル課までご連絡ください。 また、部品のご注文はアフターサービス窓口で承っています。

リニューアル課 · · · · · · · · · · · · · · · · TEL: 03 (3621) 2760 FAX: 03 (3621) 2160

《担当エリアと営業所》-

TEL:011 (615) 6681 FAX:011 (615) 7004 北海道営業所 〒 063-0801 北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10 (ラポール 24 軒 2 号館)

担当エリア: 北海道地区全域

東北地区 ····· TEL: 022 (357) 0848

FAX: 022 (357) 0847 〒 983-0014 宮城県仙台市宮城野区高砂 2-8-21

担当エリア:青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県

関東・新潟・山梨・静岡地区 TEL:03 (3621) 2121 (株) 日本イトミック 本社 FAX:03 (3621) 2130 (株) 日本イトミック 本社 FAX: 03 (3621) 2130 〒 131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F) 担当エリア:東京都/千葉県/埼玉県/茨城県/栃木県/群馬県/神奈川県/山梨県/新潟県/静岡県

 中部・北陸地区
 TEL:052 (222) 2561

 中部営業所
 FAX:052 (222) 2559

中的選条所 FAX: U52 7 460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12 (アレックスビル) 3 担当エリア:富山県/石川県/福井県/岐阜県/愛知県/三重県/長野県

近畿地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ TEL:06 (7177) 4949 関西営業所 FAX:06 (7177) 4948

| 17 | 10056 大阪府大阪市中央区久太郎町 3-1-11 VORT 御堂筋本町 II 7F 担当エリア: 大阪府/京都府/滋賀県/和歌山県/奈良県/兵庫県

中国・四国地区 ················ TEL:082 (240) 1361 FAX: 082 (240) 1363 ・ 1983年 | アイス・1985年 | アイス・19

九州•沖縄地区 TEL: 092 (481) 3911 FAX: 092 (481) 3930 力.州営業所 〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5

担当エリア:福岡県/佐賀県/長崎県/大分県/熊本県/宮崎県/鹿児島県/沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

WW00D23001-1 '23.08-1-1-0 (I)